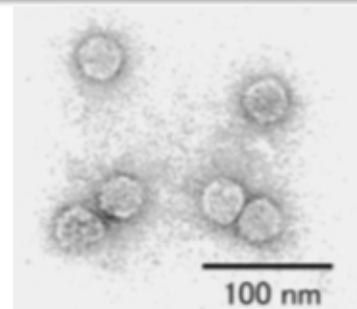


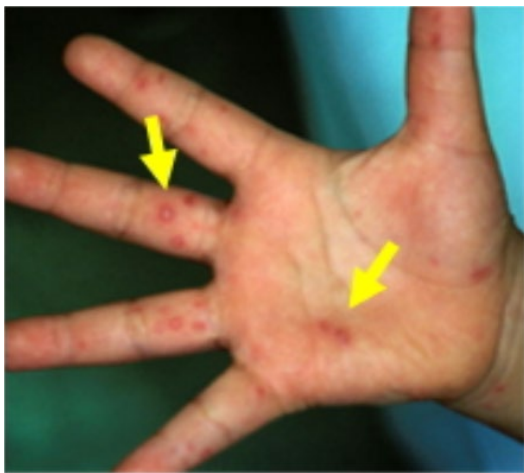
手足口病に気を付けましょう！

手足口病とは手足や口の中などに2～3mmの水疱を伴う複数の発しんが出るウイルス感染症です。発熱は、38度以下のことが多く、ほとんどの発症者は、3～7日のうちに治る病気です。

感染経路はウイルスが付着した物を触った手で自分の眼や鼻に触れて感染する「**接触感染**」、便中に排泄されたウイルスが口から入って感染する「**糞口感染**」があります。潜伏期間は3～5日間程度です。

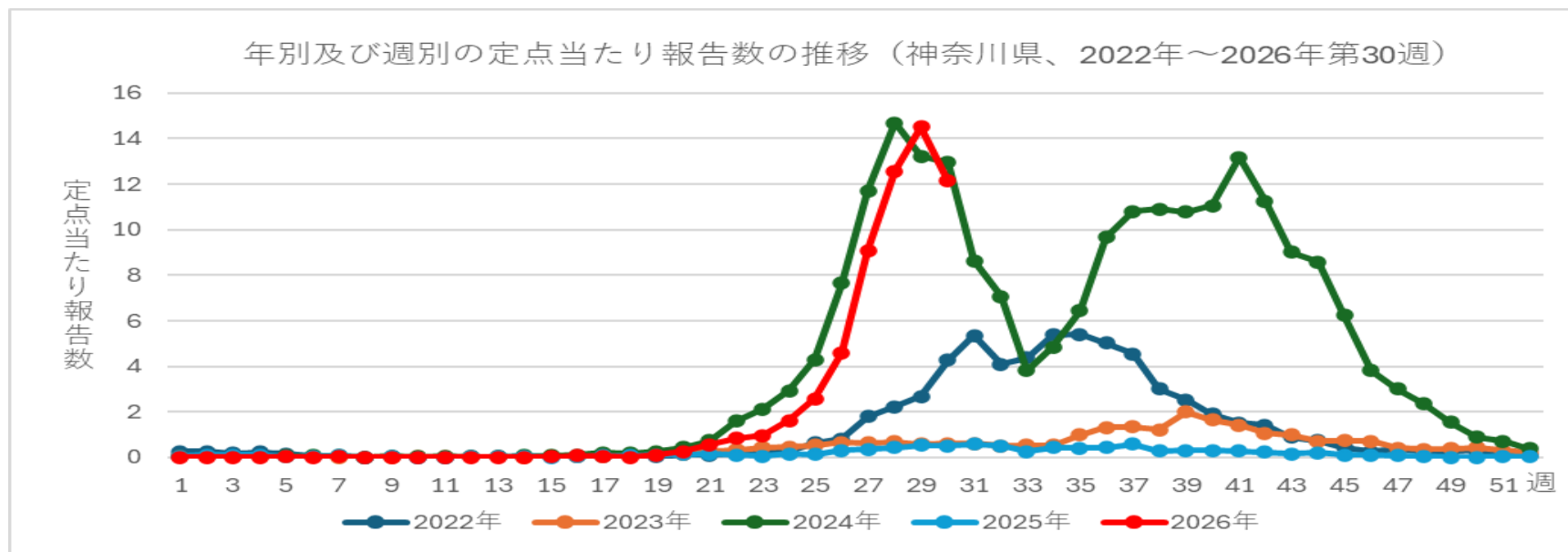


EV-A71の電子顕微鏡写真
(国立感染症研究所
有田峰太郎先生よりご恵与)



手足口病による水疱性発疹 (加藤小児科医院(石川県金沢市:現在閉院)加藤 彰一先生よりご恵与)

流行時期は毎年夏で、**乳幼児**を中心に発生します。2022、2024年と隔年で大きな流行が起っています。2026年もすでに2024年に次ぐペースで流行が起きています。第27週(2026年6月29日～7月5日)の手足口病の定点当たり報告数が9.09となり、警報レベルを超えました。直近の第30週(2026年7月20日～7月26日)の定点当たり報告数は12.15です。



治療法は特定のものがなく、症状をやわらげる治療のみになります。症状がおさまるまではしっかり睡眠をとり、身体を休ませることが大切です。また、水分をこまめにとって脱水に気を付けましょう。まれに重症化することもあるため、高熱や嘔吐などの症状があれば早めに医療機関を受診しましょう。ワクチンはありません。

予防対策は？

- ✓ 石けんでしっかり手洗いをしましょう
- ✓ おもちゃやテーブルを消毒しましょう
- ✓ タオルを共有しないようにしましょう
- ✓ 排泄物を適切に処理しましょう

※消毒には次亜塩素酸ナトリウムが有効です。
手足口病が治った後もしばらくの間は、便の中に原因ウイルスが排泄されます。排便後、おむつの取り換え後は特に手洗いを徹底しましょう。